

議 会

なかたね町

だより

第147号 平成30年5月10日発行

平成30年第1回定例会

平成30年度当初予算 ②～④

一般質問（6人） ⑤～⑩

所管事務調査 ⑪

平成29年度補正予算・条例 ⑫

条例・一部事務組合・その他 ⑬

議会の動き・編集後記 ⑭



中央幼稚園

～51年の歴史に幕～

平成30年3月定例会

3月定例会は、3月6日に招集され、3月23日までの18日間の会期で開かれました。

初日は、総務文教常任委員長の所管事務調査報告、条例の改正及び平成29年度一般会計補正予算(第7号)など21議案を原案どおり可決しました。また、町長の施政方針、平成30年度当初予算の説明を受け、各常任委員会へ付託されました。

2日目(19日)は、6人(日高和典・下田敬三・松下正治・永濱一則・徳永紹道・山元みさ子)の議員から一般質問がありました。

最終日(23日)は、各常任委員会へ付託された当初予算6件を原案どおり可決しました。

平成30年度一般会計当初予算

本 年度の一般会計当初予算は、65億3,000万円で、前年度予算と比較して、1.1%(7400万円)の減額です。

主 なものについては、人件費及び公債費等の義務的経費が構成比42.9%、普通建設事業費等の投資的経費は、温泉保養センター太陽熱利用システム整備事業(6,296万円)、道路改良舗装事業(1億7,253万円)、テニスコート改修工事(9,863万円)などで構成比18.2%です。

公 債費(借金返済)については、8億1,800万円で、平成29年度末の町債残高見込は、9億9,317万円です。

基 金(貯金)残高については、財政調整基金・減債基金からの繰入額5億8,632万円を予定しており、平成29年度末の残高見込額は、22億2,914万円です。

そ の他の特別会計及び事業会計の予算状況は別表のとおりです。

平成30年度一般会計当初予算 65億3,000万円

別表

会計名	予算額	対前年度比較 (6月補正後)	伸び率	
一般会計	65億3,000万円	▲7,400万円	▲1.1	
特別会計	国民健康保険事業勘定	12億455万円	▲3億3,937万円	▲22.0
	と畜場	325万円	▲24万円	▲7.0
	簡易水道事業	※水道事業会計と統合		
	介護保険事業勘定	11億1,212万円	3,391万円	3.1
	後期高齢者医療	1億4,594万円	560万円	4.0
水道事業会計(収益的収支)	3億1,735万円	1億4,440万円	83.5	

施政方針



施政方針とは、町長の町政運営に対する基本姿勢や今年度の重要施策、予算編成の基本方針を説明したものです。

本町が目指す「人の和と豊かな実りに新たな希望が持てるまち なかたね」の実現のための柱となる「長期振興計画」及び「中種子町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、農業を中心とする第1次産業や観光・交流を絡めた商工業などの産業振興、町民生活に欠かせない道路や交通・情報通信体系の基盤整備、本町の将来を担う子どもたちの教育や町民の文化・スポーツ活動による豊かな心と健全な体の育成によりまちづくりを実践し、更に保健、福祉、医療、介護の分野においては、町民それぞれの世代、おかれた環境において全ての方々が満足した生活が送れるための施策等を計画的に推進することが必要である。そのための行政運営は、計画等を基本と考えながら、町民の健康で豊かな生活と所得の向上を目指した施策の実行や安全・安心な環境づくりを目標に、町民の皆様と共通認識を深めながら、効果的に、そして健全に努めると説明しました。

予算委員会での主な質疑

総務文教常任委員会

社会教育課

問 テニスコート改修工事の内容は。

答 体育館側は24年度に改修しており、今回は北側3面を整備する。

問 文化財の説明案内板について。

答 平成30年度に予算を計上し年次的に対応していく。

税務課

問 固定資産税の評価の方法は。

答 業者が常備していない大きな材料については支給して工事を行っている。

問 水道課

答 3年に1回不動産鑑定士による評価を実施している。

問 業者に対し材料支給で工事を行っているのか。

答 業者が常備していない大きな材料については支給して工事を行っている。

給食センター

問 アレルギーの食育指導は。

答 栄養士と保護者を交え指導を行っている。

教育総務課

問 小学校備品購入(エアコン)の内容は。

答 7小学校の校長室と事務室、用務員室を考えている。

問 家族留学での住宅の確保は。

答 公営住宅や民間住宅の空き家の確保をお願いしている。

企画課

問 地域おこし協力隊の採用状況は。

答 2名増員を予定している。

問 ふるさと納税返礼品の価格や発送方法の改善はできないか。

答 調査し改善したい。

総務課

問 伐期を迎えた町有林の面積は。

答 45年以上のものが70ヘクタールある。



▲総務文教所管予算委員会

産業厚生常任委員会

福祉環境課

問 太陽熱温泉利用システムは、温泉センターの動力が変わるのか。

答 太陽熱を利用したヒートパイプを通すこと

とで水温が上がり熱効率がよくなり、ボイラーを焚く量が少なくなる。

問 と畜場は築何年が経過しているか。

答 昭和44年建設で、来年で50年が経過する。

建設課

問 阿高磯川改修工事の改修箇所は。

答 河口近くのむかえ橋より上流になる。

問 町営住宅改築工事に地元材を活用する方向性は確立しているか。

答 公共建築物木材利用促進方針が適用されており、地元材については積極的に推進していく。

農林水産課

問 港勢調査の内容は。

答 熊野・中山・梶潟漁港の船舶の数、漁獲高の調査で年に1回県に報告している。

問 サトウキビ新植希望者は。

答 来期の作付けは1238ヘクタールあり、22ヘクタール程度増えると思われる。

農業委員会

問 農地転用許可等の事務の権限移譲により、許可が下りる期間は短縮されたのか。

答 2カ月から2カ月半程度の期間を要していたが、1カ月程度になった。農振地域の場合は県の常設審議委員会の承認が必要となる。

農地整備課

問 事業の今後の見通しは。

答 サトウキビ増産に結びつくような道路整備を調査計画し、平成31年もしくは32年の採択を目標に進めていく。

町民保健課

問 女性ががん検診の受診率は。

答 29年度は、1496人の申し込みに対し1078人の受診であった。受診率は72%となる。

問 30年度の国保会計への繰出額は29年度並の予算額か。

答 一般事務費、出産育児一時金はこれまでと変わらない。30年度予算では法定外繰り入れをせず予算編成ができていく。



▲産業厚生所管予算委員会

平成30年度 当初予算の主なもの



温泉保養センター太陽熱利用システム整備事業 6,296万円



基盤整備促進事業(中山地区他) 4,258万円



道路改良舗装事業(梶瀨1号線他) 17,252万円



公園長寿命化対策事業(野球場スタンド改修他)8,564万円



公営住宅長寿命化対策事業(横町団地他) 6,239万円



テニスコート改修工事 9,863万円



田淵川 寿広 町長

さらに、本年4月には民間企業開催の東京イベントへも招待されているようで、情報発信・PR活動の場にも広がっていただければと思います。

町長 イベントを継続していくには財源の確保が課題で、種子島全体のPRとなるイベントであり、両市町からの参加者も多数いますので、各地元関係者と他の財

種子島観光物産展と銘打つのであれば、本町と南種子町も一緒に開催すべきでは
町長／日程などの都合上、西之表市内業者のみの参加となった

町長 本物産展は、特産品協会・民間独自の取り組みで、行政が企画に参加をしているわけではありません。種子島の名称自体は西之表市のイベントで使えないとか、中種子町のイベントで使えないとか、南種子町で使えないとか、く

アロハフェスティバル

男性フラダンスチームも結成され 県内外にPRすべきでは

町長／情報発信・PR活動の場にも広がって いただきたい



日高 和典 議員

日高 男性フラダンスチームも結成され、男女共に活動し、これからは観光種子島を県内外にPRする絶好のチャンスと考えるが町長の見解は。



▲アロハフェスティバル

町長 本イベントを契機に男性フラダンスチームも結成され、新聞で紹介されるなど、話題づくりであったり情報発信がなされ、本町及び種子島の一定のPR効果があったと考えます。また、島内はもとより県内イベントへの出演、

日高 本町だけの運営ができないなら、西之表市・南種子町と一緒に開催を続け、種子島の交流人口増大を図るべきと考えるが町長の見解は。

日高 東京会場のイベントで時間があつたら、1市2町の観光用DVDを流し、東京の皆さんにも種子島に来ていただき、交流人口の拡大になればと思う。本町も早急にDVDを作成して、おおいに情報の発信をしていくよう要求します。

町長 本物産展は、特産品協会・民間独自の取り組みで、行政が企画に参加をしているわけではありません。種子島の名称自体は西之表市のイベントで使えないとか、中種子町のイベントで使えないとか、南種子町で使えないとか、く

日高 本町でも16企業で特産品協会の運営がなされている。各企業・各市町村の考え方があ

源確保も協議します。各市町に対しては、引き続きイベントへの協力を求めていく必要があると考えます。

日高 種子島観光物産展が山形屋地階で2月に開催された。本町からの出展がなく、西之表市の企業だけで非常に残念でした。アンケート調査も実施され抽選でのプレゼントサービスもあつた。せっかく種子島観光物産展と銘打つのであれば、本町も南種子町も参加して物産展を開催すべきと考えるが町長の見解は。

日高 本町でも16企業で特産品協会の運営がなされている。各企業・各市町村の考え方があ



下田 敬三 議員

さとうきび生産維持にむけた 取り組みは

農業
振興

町長／国・県・町の補助事業を導入する

下田 史上最悪の生産実績が予測される中で行われている支援事業の進捗状況と、次年度作付け予定面積の説明を求めます。

町長 昨年8月に支援事業が開始され、速効性肥料購入助成事業で800ヘクタール分の申し込み。その後の支援事業で原料種苗の申し込みが360ヘクタール、転地返し210ヘクタール、土壌改良資材490ヘクタール、マルチ資材201ヘクタール、除草剤960ヘクタールと全て補助率が3分の2となつていきます。

次年度、作付け予定面積は、1238ヘクタールとなつております。

一般ほ場の土層改良について

下田 過去に、一般ほ場にも一部土層改良の必要性があるとして、調査検討すべきだと前町長が答弁しているが、そ

の後の対応の説明を求めます。

町長 土層改良の補助事業採択要件を満たさなければならず、現行では、一般ほ場は対象となりません。

農林水産課長 一部ほ場について試験的に土層改良を実施し、収量結果を参考に調査を行つていきます。今後も作物を限定しながら調査を進めます。

1市2町のキビ作への取り組み

下田 3市町共に支援事業を実施していると思うが、今後、どのような対応をとるのか。首長同士で検討したことがあるのか、説明を求めます。

町長 熊毛支庁・各市町農林水産関連課長で組織する農業振興に係る会議を緊急に立ち上げ、この危機を乗り切る

事業推進を行うとしております。首長だけではなく、あらゆる会合の中で、糖業振興会会長の立場からも提言をしています。

地産地消について

下田 町の地産地消への取り組みについて説明を求めます。

町長 農協女性部による「わいわい畑」、南界校区の女性有志が活動しています。

下田 高齢者の方々に、健康維持のために個人グループ等で野菜等の栽培をする推進はできないか見解を求めます。

町長 現状では、条件が揃わないと厳しいとは思いますが、そのような導き方も必要な要素だと思えます。

郷土芸能について

下田 過去の答弁に「ビデオ等の収集は行う」とあるが、その後の対応の説明を求めます。

町長 町内で披露した一部の踊りについてはビデオ撮影をしています。町制施行80周年に盛大な郷土芸能祭ができるよう関係部署とも協議を重ねます。

教育長 町内で4校の小学校で郷土芸能を披露していますが、他の小学校でも披露できないか校区・校長会等で相談・検討します。



▲中之町「北の町」

馬毛島対策協議会について

下田 離脱について説明を求めます。

町長 情報収集を優先し、新たな協議の場が必要と思ったからです。

自衛隊について

下田 自衛隊施設・訓練の誘致について見解を求めます。

町長 近辺に離島の多い中、災害発生時や離島医療への効果を考えれば施設の設置は重要であり、また、訓練についても積極的に受け入れるべきと思えます。



留学里親制度

留学に関する協議会組織の 立ち上げは

町長／平成30年度中に協議会設置予定



松下 正治 議員

教育長 毎月1回、留学生の状況、里親の苦

では、どのような協議会
しているのか。

ある、公営住宅の空きが
あり、公営住宅の空きが
あつた場合に備えて申
し込みもされているよ
うですので、確保に向
けて前向きに対応して
いきたいと考えていま

町長 集落活動拠点施
設等のバリアフリーや
手すり設置、安全安心対
策としての危険箇所改

予定となっております。

町長 家族留学があつ
た場合の住宅の確保は
大切なことです。校区内
の貸家や空き家につ
いて校区役員の方にも話
を聞いています。

町長 補助金は、申請
に基づき校区の実施委
員会の口座に入金され、
実施委員会から里親に
支払いがされています
が、支払方法は各実施委
員会の判断によります。
現在留学生を受け入れ
ている岩岡小学校では、
留学生の学校での状況
や里親宅での状況を報
告しながら、現金で支払
いをしています。留学生
の情報交換の場として
よい取り組みと考えま
すので、星原の実施委員

町長 集落等が活動拠
点としている公民館等
が老朽化している。制度
を見直し、施設改修等
を対象にできないか。

町長／対象事業とする
検討は必要である

町長 寄附につきまし
ては、5つの分野を設け
て用途を指定できます
が、地域支援を明記して
いる申込書は見受けら
れません。本町へのメ
ッセージを記載されて
いる例もありますが、特
定地域への希望は確認
されていません。

北之園 千春 教育長

松下 星原小学校も、
平成31年、32年には入
学者はゼロである。星原
小学校留学里親制度につ
いて、留学に関する協議
会組織を立ち上げる考
えは。

労、問題の解決策など、
お互い意見を出し合い、
留学制度がうまく進む
ように話し合いをして
います。会のおかげで非
常に円滑に進行してい
ます。

家電製品については、
テレビ、冷蔵庫などの設
備は必要なのかなど考
えているところです。南
種子町が家電製品をそ
るえて住宅を準備して
いるようであり、参考に
しながら対応してい
ます。

会でも検討していただ
ければと考えます。

町長

星原小学校が、
平成31年度から留学生
受け入れの準備をして
いるところであり、新た
に「中種子町うみがめ留
学」として実施要綱を制
定しました。この要綱
で、うみがめ留学制度連
絡協議会を設置し、受け
入れ学校それぞれ実施
委員会を置くこととな
っているため、協議会
を平成30年度中に設置
予定となっております。

松下 家族留学があつ
た場合の公営住宅の確
保、改修等をお願いした
い。また、家電製品の設
置はできないか。

松下 里親に対する補
助金の支給方法の見直
しはできないか。



▲うみがめ留学歓迎式

修など、集落施設の機能
向上も対象事業とする
検討は必要と思います。
ただし、現在の予算規
模、集落等への交付金の
範囲で有効活用してい
ただくことが基本的な
前提になると考えます。

ふるさと納税について

松下 出郷者で納税さ
れている方の中には、出
身校区や集落への地域
支援を願い納税されて
いる方が多いと聞か
が。



永瀨 一則 議員

30年度のキビ作付予定面積は

キビ作

町長／1238ヘクタールの予定

永瀨 30年作の植え付け状況は。

町長 現在把握している予定面積が1238ヘクタールの予定です。

永瀨 今後、作付面積を増やすために行政としてどういうふうに取り組むか。

町長 町単独での種苗用原種苗の供給、健全な土づくり。県単事業では、優良種苗供給確保事業や生産者の動力軽減を図るため、関連機械の導入を進めてきました。が、今後も引き続き行っていきます。さらには、植え付けから収穫までにかかるコストや、新植に係わる負担軽減を図る事業など栽培面積拡大に向けた取り組みを行うこととし、新年度の予算にも計上させていた

できました。現在低迷しているサトウキビを何とか振興していくためにも、積極的に対策を講じ、さらには、新たな対策を模索しながら将来へ向け実効性のある最大限の施策を講じてまいります。



▲サトウキビ管理作業

が、地力の低下も否めないう。町長は昨年度議会において、安価で安定的に供給できる堆肥センターの設立の考えがあるといわれました。その青写真は、どこまで進んでいるのか。

町長 農産部門と畜産部門の共存共栄を目的としたシステムを構築し、農業生産に係わる副産物の地産地消を実現するためにも種子島耕畜連携推進会議で基幹作物及び畜産振興の促進に向けた協議を行っているところ。です。

堆肥センター設立について
永瀨 29年作は、大幅な減収である。その要因はいろいろあると思う

地域活性化について

永瀨 急激に進行する地域の高齢化と人口減少を抑えるために、IUTターン者や後継者の定住を促進しているが、種子町としてUITターンの受け入れ態勢は。

町長 地域の活性化を維持していくためには、一定規模の人口、つまりその地域に住み、地域活動を担う定住者が必要となり、人口増の要素である出生数及び転入者をふやすことが重要な施策であることから、現在進めている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、まさにそのための施策となっています。

総合戦略に掲げる「中種子町へ人のビッグウェーブ戦略」の施策「UITターン交流推進支

援による定住システムの構築」が、地域活性化を進めるために必要な若い世代の定住者増に向けたものとなります。内容については、空き家データ管理と情報発信の強化、移住者体験談の島外情報発信、医療福祉及び農業系学校進学者への優遇措置制度の設置となっております。住宅情報、移住相談窓口、情報発信については企画課、島外学校進学のUITターン者への優遇貸付けについては、教育委員会では、教育委員会で対応しています。定住を考える際、医療、福祉、教育や生活環境なども重要な要素ですが、具体的な個別相談などについては各関係課が相談に応じますが、基本的情報については、企画課を窓口として対応しています。



徳永 紹道 議員

国民健康保険税

国保税はどのようになるか

町長／不安がる状況ではないと考える

者への軽減措置なども考慮していく必要があると考えております。

体には間に合いません。

月以降、町民の負担増と

設計して工事を始め

年の所得が確定する5

計画しています。

はないかと考えます。昨

具修理、観客席の改修を

うな状況ではないので

え、倉庫の増築、照明器

担増は、そう不安がるよ

え、フェンスの建て替

変わりますが、町民の負

町長 コートの張り替

町長 4月より制度が

間に合わせてほしい。

税はどうなるのか。

月初めに行われる郡体

ている、中種子町の国保

が措置されているが、7

で、町民の多くが心配し

徳永 改修工事の予算

農作物の不作が続く中

い。

カンシヨ、サトウキビ等

について

徳永 でんぷん原料用

テニスコート改修工事



▲テニスコート

けると考えます。

けると考えます。

ぐらひはさせていただ

たらどうかという提案

地元業者の優先でやっ

である副町長のほうに、

町長 指名委員会の長

い。

の業者に限定してほし

徳永 工事を中種子町

について

伏之前町営住宅の漏水

徳永 2号棟の漏水は

何で解決しないのか。

建設課長 以前、3階

の給湯器からの漏水も

あったので、床を切断し

て再調査をしました。壁

のコンクリートも異常

はありませんでした。修

理業者にも同行しても

らい、考えられる原因に

ついて全て調査しまし

たが、現在、防水工事の

コーキング打ち直しの

ため、そのことが原因と

も考えられるので、防水

工事が終わるまで様子

を見ていただくよう伝

えました。一連の対応に

無責任と思われること

はないと思いますが、言

葉遣いや態度が悪かつ

たり、丁寧な説明がない

ということであれば、お

詫び申し上げます。

徳永 町民は、1日も

早く解決してくれと要

望しております。職員を

督促されて早く解決し

てもらいたい。



▲町営伏之前団地



山元 みさ子 議員

旭町本通りの固定資産評価額が高すぎるのでは

固定資産税

町長／適正な価格での評価額である

山元 旭町本通りは、20年前に比べて空き店舗や駐車場が目立ち、人通りも少なく活気もない。それなのに、固定資産評価額が高すぎると思うが。

町長 土地家屋の評価は、総務大臣が定めた固定資産評価基準に基づいて市町村長がその価格を決定します。また、経済状況による地価の変動も考えられるため、3年ごとに評価替えが行われています。評価方法は、宅地の沿接する道路や公共施設等の接近状況、宅地の利用上の便等を総合的に考慮し価格決定をしています。価格決定については、不動産鑑定士により、売買実例価格、街路条件、交通条件、環境条件の地域要因も総合的に判断し価格判定を行っていますので、周辺の状況と比較して適正な価格での評価額と考えます。

山元 町道である旭町本通りと、国道付近との評価額の差はあまりない。その時代の流れに依拠することはできないものか。

町長 地域要因を総合的に判断して価格決定をしています。また、国土交通省が地価公示地を提示しており、これと見合わせても均衡がとれているという判断です。

山元 固定資産税が高いと貸店舗も家賃が高くなり、借り手がなかなかいないのが実情である。そこを考えても町の情報も見ながら変えて

もいいのではないか。

町長 旭町通りの固定資産税を下げることは、財政状況を考えると厳しいと思います。しかし、国保税については、現在まで賦課方式が所得割、均等割、資産割、平等割という4方式で賦課していましたが、30年4月より健康保険の資産割を削除し、3方式への課税方式としていまして、少なからず低減ができる部分もあります。

山元 中種子町住宅建設検討委員会を立ち上げ、一人暮らしに適した間取りやバリアフリーの検討をすることだったか。

横町団地建て替えについて

時期、建て替えを着手するのはいつ頃か。

山元 昨年6月の定例会で横町団地の取り壊し時期、完成時期の質問をしたが、その後の経過は。

町長 平成30年度に実施設計を計画しています。

山元 横町住宅を転居した人たちに説明は行っているのか。

建設課長 転居する際に説明はしているが、具体的にいつ入れるか等の説明はしていません。

山元 横町住宅から転居した人たちは、家賃が高くなったうえ、日常の買い物、病院にも遠くなり大変困っています。早急な工事着手をお願いします。



▲旭町通り

建設課長 今のところ立ち上げてはいませんが、実施設計に伴い立ち上げが必要と思っております。

山元 建物の取り壊し

《所管事務調査報告》 総務文教常任委員会

学校教育の実態について

去る2月2日、教育委員会担当職員の出席を求め、学校教育の実態について調査をしました。

納官小学校

児童数10名（3学級）

教育目標は『夢に向かって学び続ける、心豊かでたくましい納官の子の育成』であり、児童・学校・職員のみならず、べき姿を掲げ、特色を活かした信頼される学校づくりの推進に



▲納官小学校

努めています。

また、納官和太鼓の伝承を受け継ぎ、演奏を通して地域の様々な交流活動へ参加したり、ウミガメの卵のふ化放流体験を通して、生命を尊重する心や郷土を愛する心を育む教育を行っています。

油久小学校

児童数22名（3学級）

教育目標は『油久の良さを活かし、進んで学び、たくましく生きる力を備えた人間関係豊かな子どもを育てる』であり、「助け合う進んで学ぶたくましい子」の育成に努めています。郷土の「よか馬は風に向かって立つ」という言葉を教育理念に、どんな時代でも、どんな環境におかれても、積極的に生き抜く知恵と気力・体力をもつ



▲油久小学校

たくましい人間像をめざすとともに、地域に根ざした特色ある教育活動に取り組んでいます。

野間小学校

児童数266名（13学級）

教育目標は『心豊かに、たくましく歩む野間の子の育成』であり、創立140周年の歴史と伝統を継続しながら、

うく自分の夢に向かって」を掲げており、子どもの夢につながるキャリア教育の視点をもって、適切で特色ある教育課程の編成、すべての児童が安全で楽しく充実した学校生活を送れるよう努めています。



▲野間小学校

中種子中学校

生徒数206名（6学級）

教育目標は『心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲とたくましく生きる実践力をもち、豊かな感性を備えた生徒を育成する』であり、校訓の「風に向かって立つ」や「自ら進んで学び、



▲中種子中学校

粘り強く努力する生徒」「心身を鍛え、気力あふれる生徒」「人を敬い、思いやりのある生徒」をめざす生徒像とし、学校、教師、家庭それぞれがめざすべき姿を掲げて重点課題に取り組んでいます。

学校施設の整備補修

施設の整備補修については、各学校とも補修、改善を要する箇所が見受けられました。緊急性の高いものもあり児童・生徒の安全な教育環境を守るためにも早急な対策を講じられるよう望みます。

まとめ

小規模校においては、「語彙（ごい）力」を高めることに重点をおいていることが特徴的でした。小人数であることから、豊かな表現力がなくてもコミュニケーションがとりやすいことが、伝える力の低下を招いている事実は非常に大きな問題と感じた部分であり、交流学習の重要性を強く感じたことでした。

また、スマホやゲーム機の普及による視力低下等、保健面に与える影響も重要な課題となっており、各学校においてもそれぞれの取り組みをPTAと連携して行っていました。今後も全町的な取り組みを学校、家庭、地域と連携を図り、地域力を高める教育活動に取り組んでもらいたい。との委員全員の一致した意見でした。

平成29年度補正予算

一般会計補正予算

(第7号)

歳入

国補正による「国庫支出金」の離島活性化交付金の増額。「県支出金」は、交付金決定見込みによる減額。「寄附金」は、ふるさと納税見込額の増額。「繰入金」は、財源調整のため財政調整・減債基金繰入金を減額し、中学校設備改修に充当するためふるさと応援基金を取り崩すものです。

歳出

「総務費」は、地域公共交通確保維持改善協議会負担金の決定による減額、定住促進に係る各種事業の実績による減額。「民生費」は、国保特

別会計への繰出金の減額及び国の補正に対応する老人福祉センター大規模改修事業の増額。「衛生費」は、各水道事業への繰出金の減額と各種検診実績による減額。「農林水産業費」は、サトウキビ増産強化対策事業確定見込みによる減額、基盤整備事業の負担金確定による減額。「商工費」は、ふるさと納税返礼品経費の増額・「土木費」は、各工事費の確定見込みによる減額。「消防費」は、国補正による

災害避難所看板設置事業の増額。「教育費」は、国補正による小中学校改修工事費の増額減額です。各会計ごとの補正額及び補正後の額は別表のとおりです。

平成29年度会計別予算額

【別表】

会計名 (補正号数)	補正額	補正後の予算額	
一般会計 (第7号)	1億3,794万円	68億2,916万円	
特別会計	国民健康保険会計 (第4号)	1,244万円	15億6,333万円
	簡易水道事業会計 (第4号)	▲867万円	2億1,453万円
	介護保険事業会計 (第4号)	▲2,587万円	10億8,850万円
	後期高齢者医療会計 (第4号)	123万円	1億5,318万円
水道事業会計(収益的支出)(第4号)	▲608万円	1億7,117万円	

条例

■中種子町国民健康保険条例の一部改正

持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法の一部を改正する法律が、平成30年4月1日から施行されることにより、条例の文言の追加と国民健康保険運営協議会の名称の修正を行うものです。

■中種子町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険については、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村へ保険給付に要する費用を全額交付し、市町村では、都道府県が決定した国民健康保険事業納付金を納付するため、保険税を賦課・徴収することに伴い改正するものです。

■中種子町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例

保険者機能の強化という観点から、市町村による介護支援専門員の支援を充実することを目的に、居宅介護支援事業者の指定権限が、都道府県から市町村に移譲されることに伴い制定されるものです。

■中種子町介護保険条例の一部改正

本年4月から、3年間の第7期介護保健事業計画運営期間に入るため、介護保険法の規程により、当該事業計画期間中の介護保険給付費対象サービス量の見込等に基づき、運営期間中の第1号被保険者保険料を改定するものです。

■中種子町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、国民健康保険の被保険者であつて、規程により住所地特例の適用を受けて従前の住所地の市町村の被保険者とされている者が、年齢到達及び障害認定により後期高齢者医療制度に加入した場合に、住所地特例の適用を引き継ぎ、従前の住所地の後期高齢者医療広域連合の被保険者となることにより関連条項を追加するものです。

■中種子町水道事業の設置等に関する条例の一部改正

財政基盤・施設管理基盤を強化し、効率的な経営体制を確立するため、簡易水道事業を廃止して、上水道事業へ経営統合することに伴い改正するものです。

■中種子町企業立地の促進等による地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」の名称が改正され、支援措置の対象業種が拡大されたことに伴い改正するものです。

■中種子町自然レクリエーション村設置及び管理に関する条例の一部改正

新たに整備した多目的広場の占有使用における料金の設定を行うために改正するものです。

半日使用・1500円
1日使用・3000円
※昼間使用でキャンプ以外の目的で全体を占有する場合

■農業振興基金条例の一部改正

改正前の条例は、基金の活用が限定され、農業振興にそぐわないために、関税と貿易等

に関する国際的な状況にかかわらず、国内のあるいは地域的な状況の変化にも対応できる条例に改正するものです。

■ふるさと応援基金条例の一部改正

基金に積み立てる額を、現行の寄附された金額から返礼品など経費を差し引いた額を予算に定め、積立額とするための改正です。

■都市公園条例の一部改正

都市公園法施行令第8条第1項の改正に伴い都市公園に設ける運動施設に関する制限を定めるとともに、関係する条文を整備するための改正です。

■役場課設置条例の一部改正

有人国境離島法関連業務、ふるさと納税、各種イベント等、企画課業務の分担を図るために、商工観光係、電算係を新たに設置するため改正です。

■中種子町職員の旅費支給条例の一部改正

島外に出張する場合の交通費として日額2000円を支給し、職務のない日(移動日)は、その半額を支給するように改正するものです。

■町長等の給与の特例に関する条例

財政健全化のため、三役の給料を昨年度に引き続き、町長を10%、副町長及び教育長を5%カットするものです。

一部事務組合

■熊毛地区消防組合議定例会

●30年第1回定例会(2月13日)
平成30年度当初予算は、総額9億6618万円。前年度比2579万円の増額です。

■種子島地区広域事務組合議会

●30年第1回定例会(2月13日)
平成30年度当初予算は、総額9億6618万円。前年度比2579万円の増額です。

平成30年度当初予算は、総額6億8214万円。前年度比1463万円の減額です。

■種子島産婦人科医院組合議会

●30年第1回定例会(2月13日)
平成30年度当初予算は、収益的収入及び支出の収入は、2億5828万円。支出は、2億7737万円。資本的収入及び支出の支出は、1284万円です。

■中南衛生管理組合議会

●30年第1回定例会(2月27日)
平成30年度当初予算は、総額1億143万円。前年度比6004万円の減額です。

■公立種子島病院組合議会

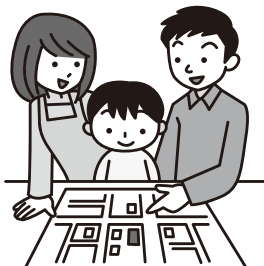
●30年第1回定例会(2月27日)
平成30年度当初予算は、収益的収入及び支出の収入は、9億836万円。支出は、9億3165万円。資本的収

入及び支出の収入は、1億672万円、支出は、1億772万円です。

その他議案

■中種子辺地に係る総合整備計画の変更について

変更内容は、老人福祉センターの施設全体が老朽化していること、また、施設全体がバリアフリーに整備されていないことなどによる大規模改修を、高齢者福祉増進施設において、防災拠点施設防災機能強化事業・老人福祉センターを新規に追加するものです。



議会傍聴においでください。

平成30年6月議会は13日に招集される予定です。

町民の皆様、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、町議会では、できるだけ多くの方が傍聴されることを望んでいます。

町議会の本会議は、いつでも、だれでも傍聴できます。議会事務局で傍聴券を交付します。議長や係員の指示に従い、静かに傍聴しましょう。

開会日前には、防災無線でお知らせします。

議会の動き



3月

- 1日 種子島中央高校卒業式
- 6日 第1回定例会（23日まで）
- 7日 予算委員会（8日）
- 12日 戦没者春の追悼式
- 13日 議会運営委員会
- 16日 中学校卒業式
- 22日 中種子養護学校卒業式
- 29日 小学校卒業式
- 29日 観光協会設立10周年記念式典

4月

- 5日 うみがめ留学生生歓迎式
- 6日 県町村議会議長会理事會
- 6日 小・中学校入学式
- 9日 新旧行政連絡員會
- 9日 種子島中央高校入学式
- 9日 中種子養護学校入学式
- 13日 転入教職員宣誓式
- 15日 鹿兒島中種子会総会
- 21日 内閣総理大臣主催「桜を見る会」
- 26日 県政説明会

5月

- 2日 自衛隊父兄会総会
- 8日 郡議会議長会総会
- 9日 県離島振興議長会臨時総会
- 9日 県町村議会議長会臨時総会
- 9日 議員研修会
- 16日 種子島空港利用促進協議会
- 16日 種子島宇宙開発促進協議会
- 16日 種子島宇留港整備促進協議会
- 27日 種子島屋久島振興協議会
- 27日 近畿中種子会総会

お知らせ

議会の映像中継について
中種子町議会では、議会の活性化を図るため、本会議中は、庁舎1階ロビーに設置しているモニターテレビで本会議の様相を放映しています。
議場に入れない場合や役場へお越しの際は、是非ご覧ください。
(開会中に限ります)

編集後記

本町農業の基幹作物であるサトウキビが、昨年の台風被害等で収量・糖度ともに過去最低水準の不作に見舞われ、大変厳しい状況にあり、重要な自主財源である町税額の低下が懸念されます。

このような中、平成30年度一般会計予算総額65億3000万円が議決されました。この大切な予算が町民のために、適正かつ効果的に執行されているのか監視することも議会に与えられた役割です。

天皇陛下の生前退位の御意向で平成の年号も最後となり、私たちの任期も最後の1年となりました。この1年を節目の年として、これまでの議会活動を振り返り、町民の生活・福祉の向上に真摯に取り組みたいと思います。

蓮子 信二

広報編集委員会

委員長 蓮子 信二

副委員長 永濱 一則

委員 戸田 和代

委員 下田 敬三

委員 迫田 秀三

委員 山元みさ子

